

**安全性データシート**

改定日: 2016年10月24日

発行日: 2010年9月14日

SDS番号: 164A-18

**セクション 1: 物質 / 混合物、および企業 / 業務の識別**

**1.1. 製品識別**

690 FG潤滑剤 (エアゾール)

**1.2. 物質または混合物の関連識別用途、並びに推奨用途**

下地の金属、木材、塗装、プラスチックを傷めずに錆、あか、腐食、汚れ、グラファイト、その他に浸透しゆるめます。  
飲食物、製薬プラントの装置用。

**1.3. 安全性データシートのサプライヤ情報**

**会社:**

A.W. CHESTERTON COMPANY  
860 Salem Street  
Groveland, MA 01834-1507, USA  
Tel: +1 978-469-6446 Fax: +1 978-469-6785  
(Mon. - Fri. 8:30 - 5:00 PM EST)  
SDSの要求: www.chesterton.com  
Eメール (SDSに関する質問): ProductMSDSs@chesterton.com  
Eメール: customer.service@chesterton.com

**供給元:**

株式会社 明治屋  
神奈川県横浜市中区尾上町5丁目76番地  
TEL 045-681-2741 FAX 045-681-2731  
Eメール: contact-ches@meidi-ya.com

**1.4. 緊急時電話番号**

1日24時間、年中無休  
Infotrac (追跡) 電話番号: +1 352-323-3500 (料金受信人払い通話)

**セクション 2: 危険有害性の要約**

**2.1. 物質または混合物の分類**

**2.1.1. 欧州規制1272/2008 [CLP] / GHSによる分類**

エアゾール 1, H222, H229  
吸入毒性 1, H304\*

**2.1.2. 追加情報**

H(危険)ステートメントの全文: セクション2.2および16を参照。  
\*分類表示包装規制 (CLP)の条項23のもとで、吸引の危険があるとされる物質や混合物を含むエアゾール類にはラベルは不要です。

**2.2. ラベル項目**

欧州規制1272/2008 [CLP] / GHSによるラベル付け

危険の絵表示:



信号語: 危険

危険有害性情報: H222 極めて可燃性/引火性の高いエアゾール。  
H229 高圧容器: 熱すると破裂のおそれ。

<b>使用上の注意:</b>	P210	熱/火花/裸火/高温のもののような着火源から遠ざけること。—禁煙。
	P211	裸火または他の着火源に噴霧しないこと。
	P251	使用後の含め、穴を開けたり燃やしたりしないこと。
	P301/310	飲み込んだ場合: 直ちに医師に連絡すること。
	P331	無理に吐かせないこと。
	P403	換気の良い場所で保管すること。
	P410/412	日光から遮断し、50° C 以上の温度に暴露しないこと。

**補足情報:** なし

### 2.3. その他の危険性

なし

## セクション 3: 組成、成分情報

### 3.2. 混合物

危険成分 <sup>1</sup>	重量%	CAS番号 / EC番号	CLP/GHS分類
白色鉱油 (石油)	85-95	8042-47-5 232-455-8	吸入毒性 1, H304
プロパン	5-10	74-98-6 200-827-9	引火性ガス 1, H220 液化ガス

H(危険)ステートメントの全文: セクション16を参照。

<sup>1</sup>分類基準: \* 労働安全衛生法  
\* 毒物および劇物取締法  
\* GHS, 1272/2008/EC, REACH

## セクション 4: 応急処置

### 4.1. 応急処置情報

**吸引:** 新鮮な空気のある場所に移動してください。呼吸が停止している場合は、人工呼吸を実行してください。医師の診断を受けてください。

**皮膚への付着:** 石鹼水で皮膚を洗浄してください。刺激が持続する場合は医師の診断を受けてください。

**目に入った場合:** 大量の水で目を最低15分間洗い流してください。刺激が持続する場合は医師の診断を受けてください。

**呑み込んだ場合:** 無理に吐かせないでください。直ちに医師の診断を受けてください。

### 4.2. 最も重要な徴候と影響 (急性および遅延)

肺に吸込むと化学性肺炎や肺水腫を起こすことがあります。

### 4.3. 緊急に医師の診察および特別な治療が必要な徴候

症状の手当てをしてください。

## セクション 5: 火災時の処置

### 5.1. 消火剤

**適切な消火剤:** 二酸化炭素, 乾燥薬品, 発泡 あるいは 水霧

**不適切消火剤:** 大量の水噴射

**5.2. 物質または混合物から生じる特別な危険性**

高圧容器は加熱すると爆発する危険があります。水で発泡することがあります。

**5.3. 消防の際のアドバイス**

容器は水で冷却してください。消防士に自給式呼吸器の着用を勧めてください。

**セクション 6: 漏出時の処置****6.1. 作業者の注意、保護装備、緊急時の手順**

その場を退去してください。充分換気してください。セクション8で指定された露出制御と人体保護を利用してください。

**6.2. 環境に対する注意**

下水、河川、水路に流さないでください。

**6.3. 閉じ込めおよび清掃の方法・材料**

流出分は小さな場所に回収してください。発火源に近づけないでください。禁煙。

発火源が除去できなければ、水で洗い流してください。

吸収性の材料(砂、おがくず、クレー等)で回収し、廃棄に適した容器に入れてください。

**6.4. 他のセクションの参照**

廃棄処理についてはセクション13を参照してください。

**セクション 7: 取扱い及び保管上の注意****7.1. 安全な取扱いのための注意**

炎や白熱した材料に直接スプレーしないでください。発火源から離してください。禁煙。

正しい就業態度を守ってください。炭化水素を使用する間、作業区域で飲食、喫煙をしないでください。

セクション8で指定された露出制御と人体保護を利用してください。

**7.2. 安全な保管のための条件 (配合禁忌を含む)**

加圧容器: 直射日光を避け、50° C 以下で 保管してください。使用後も穴をあけたり焼却したりしないでください。

**7.3. 具体的な最終用途**

予防策は特になし。

**セクション 8: 暴露防止及び保護措置****8.1. 管理パラメーター**

成分	日本産業衛生学会 OEL		ACGIH TLV	
	ppm	mg/m <sup>3</sup>	ppm	mg/m <sup>3</sup>
オイルミスト、鋳物物	-	3	-	5
プロパン	-	-	*	-

\*単なる窒息性

**8.2. 曝露制限****8.2.1. 設備対策**

通気の良い場所でのみ使用してください。許容限界を超える場合は、充分換気してください。

**8.2.2. 作業員の保護対策**

**呼吸器系の保護:** 通常不必要。許容限界を超える場合は、認可された有機蒸気呼吸マスクを使用してください  
(例: 欧州規格フィルタータイプ A/P2).

**手袋:** 通常不必要。

**目 / 顔の保護:** 安全ゴーグルあるいは眼鏡。

**その他:** なし

**8.2.3. 環境暴露措置**

セクション6と12を参照。

**セクション 9: 物理的及び化学的性質****9.1. 基本的な物理・化学的性質に関する情報**

形状	液体	臭気	無臭
色	無色	においの閾値	未定
初留点	299° C, 製品のみ	20°Cでの蒸気圧	未定
融点	未定	重量比芳香物含有率 (%)	0%
揮発率%(容量比)	0%, 製品のみ	pH	適応せず
引火点	171° C	相対密度	0.88 kg/l, 製品のみ
方法	オープン・カップ, 製品のみ	係数(水/油)	< 1
粘度	< 100 cps	蒸気密度(空気=1)	> 1
自己発火温度	未定	蒸発率(エーテル=1)	< 1
分解温度	データなし	水溶性	ごくわずか
高/低引火性あるいは高/低爆発限界	未定	酸化性	適応せず
引火性(固体、ガス)	適応せず	爆発性	適応せず

**9.2. その他の情報**

40° Cでの動粘度: 17.93 cst (製品のみ).

**セクション 10: 安定性及び反応性****10.1. 反応性**

セクション10.3と10.5を参照。

**10.2. 化学的安定性**

安定

**10.3. 危険な反応の可能性**

通常の使用条件では危険反応は起こっていません。

**10.4. 避けるべき条件**

炎、熱、スパーク、および高熱表面。

**10.5. 配合禁忌薬品**

液体塩素や濃縮酸素のような強力酸化剤。

**10.6. 危険な分解物**

一酸化炭素、二酸化炭素、その他の有毒煙。

**セクション 11: 有害性情報****11.1. 毒性影響に関する情報**

**通常使用時の主な接触経路:** 吸引、皮膚や目への付着。

**急性毒性 -**

**経口:** 成分に関する入手可能なデータによると分類基準を満たしていません。

物質	テスト	結果
白色鉱油(石油)	致死量50(LD50), ラット	> 5000 mg/kg

**経皮:** 成分に関する入手可能なデータによると分類基準を満たしていません。

物質	テスト	結果
白色鉱油(石油)	致死量50(LD50), うさぎ	> 2000 mg/kg

**吸引:** 成分に関する入手可能なデータによると分類基準を満たしていません。

物質	テスト	結果
白色鉱油(石油)	致死濃度50(LC50), ラット, 4時間	> 5 mg/l
プロパン	致死濃度50(LC50), ラット, 4時間	658 mg/l

**皮膚腐食 / 刺激:** 白色鉱油(石油): 炎症なし。

**重篤な目の損傷 / 刺激:** 白色鉱油(石油): 炎症なし。

**呼吸器または皮膚の感作:** 情報なし

**胚細胞突然変異原性:** 情報なし

**がん原性:** 本製品は、国際ガン研究機関(IARC)あるいは法規(欧州共同体)1272/2008の規定する発がん性物質を含有していません。

**生殖毒性:** 情報なし

**STOT - 単回暴露:** 情報なし

**STOT - 反復暴露:** 情報なし

**吸引性呼吸器有害性:** 肺に吸込むと化学性肺炎や肺水腫を起こすことがあります。

**その他の情報:** 既知の影響なし

**セクション 12: 環境影響情報**

本製品用に特別に決定された生態毒性データはありません。以下の情報は類似した物質の成分と生態毒性に基づいています。

**12.1. 毒性**

オイル製品は誤って環境に放出されると土地や水の汚染の原因となることがあります。

**12.2. 持続性・分解性**

本製品はOECD規定の生分解レベルには達していませんが、本質的に生分解します。

**12.3. 生物蓄積の可能性**

情報なし

**12.4. 土壌中の移動性**

液体。水溶性: ごくわずか。環境移動性を決定する際は、本製品の物理、化学特性を考慮してください(セクション9参照)。  
白色鉱油(石油): 土壌内の移動性が低いとされています。

**12.5. PBT・vPvB評価の結果**

入手不可

**12.6. その他の悪影響**

既知の影響なし

**セクション 13: 廃棄上の注意****13.1. 廃棄処理方法**

汚れたものは、正式に認可された設備で焼却してください。使用済み、未使用の製品は焼却あるいは燃料融和してください。  
 高圧用器は認可された設備で焼却してください。地方自治体、国家条例を調べ、最も厳しい条件を遵守してください。  
 本製品はEC理事会指令2008/98/ECで危険廃棄物に指定されています。

**セクション 14: 輸送上の注意****14.1. UN番号**

ADR/RID/ADN/IMDG/ICAO: UN1950  
 TDG: UN1950  
 US DOT: UN1950

**14.2. UN固有輸送名**

ICAO: Aerosols, Flammable  
 IMDG: Aerosols  
 ADR/RID/ADN: Aerosols, *flammable*  
 TDG: Aerosols, *flammable*  
 US DOT: Aerosols, *flammable*

**14.3. 輸送危険性分類**

ADR/RID/ADN/IMDG/ICAO: 2.1  
 TDG: 2.1  
 US DOT: 2.1

**14.4. 梱包グループ**

ADR/RID/ADN/IMDG/ICAO: 適応せず  
 TDG: 適応せず  
 US DOT: 適応せず

**14.5. 環境への危険性**

環境危険性なし

**14.6. ユーザーへの特別な注意**

使用に関する特別な注意はなし

**14.7. Marpol 73/78附則IIによる貨物輸送およびIBCコード**

適応せず

**14.8. その他の情報**

US DOT: Shipped as Consumer Commodity ORM-D in packaging having a rated capacity gross weight of 66 lb. or less (49 CFR 173.306(i)). ERG NO. 126  
 IMDG: EmS. F-D, S-U, Shipped as Limited Quantity  
 ADR: Classification code 5F, Tunnel restriction code (E), Shipped as Limited Quantity

**セクション 15: 適用法令****15.1. 物質または混合物に固有の安全性・保健・環境規制 / 法規**

日本PRTR	クラスI薬品: なし	クラスII薬品: なし
--------	---------------	----------------

その他の国内規制: 消防法: 危険物 第4類第3石油類  
 労働安全衛生法: 危険物(引火性の物)

## セクション 16: その他の情報

**略語一覧:** ACGIH:米国産業衛生専門家会議  
 ADN:内陸水路による危険物の国際輸送に関する欧州協定  
 ADR:道路による危険物の国際輸送に関する欧州協定  
 ATE:急性毒性推定値  
 BCF: 生物濃縮係数  
 cATpE: 変換後の急性毒性推定値  
 CLP:分類、ラベル、包装に関する法規(1272/2008/EC)  
 GHS:世界調和システム  
 ICAO:国際民間航空機関  
 IMDG:国際海上危険物規定  
 LC50:試験動物の50%を死亡させる致死濃度  
 LD50:試験動物の50%を死亡させる投与量  
 LOEL:最小作用量  
 NOEC:最大無作用濃度  
 NOEL:最大無作用量  
 N/A:該当せず  
 PBT:難分解性、生物蓄積性および有毒性を有する物質  
 PEL:許容暴露限度  
 REACH:化学物質の登録、評価、認可および制限に関する規制(1907/2006/EC)  
 RID:鉄道による危険物の国際輸送に関する規定  
 SDS:安全性データシート  
 STEL:短時間暴露許容濃度  
 STOT: 特定標的臓器毒性  
 TDG:危険物輸送に関する勧告(カナダ)  
 TLV:暴露限界  
 US DOT:米国運輸省  
 vPvB:極めて難分解性で高い生物蓄積性を有する物質  
 その他の略語はwww.wikipedia.orgで調べることができます。

**主な参考文献およびデータ出典:** 独立行政法人 製品評価技術基盤機構(通称 ナイト、NITE)  
 欧州化学物質庁(ECHA) - 化学物質に関する情報  
 スウェーデン化学物質庁(KEMI)  
 米国国立医学図書館毒物学データネットワーク(TOXNET)  
 化学分類および情報データベース(CCID)

## GHSによる混合物の分類方法:

分類	分類手順
エアゾール 1, H222, H229	成分ベース
吸入毒性, H304	テストデータに基づく

**関連するH(危険)-ステートメント:** H220: 極めて可燃性/引火性の高いガス。  
 H222: 極めて可燃性/引火性の高いエアゾール。  
 H229: 高圧容器: 熱すると破裂のおそれ。  
 H280: 加圧ガス: 熱すると爆発のおそれ。  
 H304: 飲み込んで気道に侵入すると生命に危険のおそれ。

**危険の絵表示名:** 炎

**本改訂によるSDSの変更:** セクション 2.1, 2.2, 3, 8.1, 11, 16.

**その他の情報:** なし

本情報は使用物質の供給元が発行したデータにのみ基づいており、混合物自体に基づくものではありません。  
使用者の特別な目的に対する製品の適合性に関する保証は一切明示、暗示されていません。  
適合性は使用者自身が決定しなければなりません。